

©神奈川新聞社 29619号
〒231-8445 横浜市中区太田町2-23
総合受付 045-227-1111[1ヵ月3500円・1部140円]

GLIP CO.,LTD.
資産運用型マンションLeaシリーズ
ワンルームマンション用地情報求む
株式会社グリップ
TEL 045-777-7644

きょうの天気 のち 一時・時々

北の風日中東の風、くもり昼過ぎまで時々晴れ
最小湿度55%、海上最大風速8m/s=横浜

	6時	12	18	24	最高気温	最低気温	降水確率	洗濯指数 [横浜]
横浜					18	8	10	
横須賀					19	7	10	
鎌倉					20	7	10	
相模原					20	3	10	
厚木					21	5	10	
小田原					19	6	10	
東京					19	7	20	

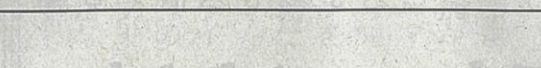
週間予報 下段太字：最高気温/細字：最低気温

	きょう	あす	4(火)	5(水)	6(木)	7(金)	8(土)
横浜							
降水確率	18/8	13/2	5/2	13/3	14/5	12/3	9/2
	10%	90%	80%	60%	40%	20%	40%
東京							
	19/7	13/3	5/2	13/2	14/5	12/3	10/1

各地の天気はテレビ面をご覧ください。

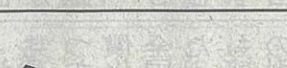
今を伝え、明日を創る。
新時代のローカルメディアへ
私たちと一緒に挑戦しませんか？
〈新卒〉 〈記者経験者〉
採用情報はQRコードへ

「差別禁止」明記せず、人権条例に批判
問う
差別の禁止すら明記されていない、京都府が制定を進める府人権尊重の共生社会づくり条例へ批判が広がっている。



「ピキニ事件」71年で集会
清陵が今年初の対外試合
就活、会社説明会が解禁
減災 広域避難、孤立防ぐ
総合 2・3 防災 17
日曜版 4・5 TV解説・小説 18
スポーツ 6~8 地域 19
読書 14・15 社会 20・21

出会いを楽しみに
4



ウクライナ支援へ
写真と映像の企画展 19
ロシアの侵攻から3年となるウクライナを支援しようと、県の企画展「写真と映像で見るウクライナ」が横浜駅東口の新都市プラザで始まった。2日まで。



きょうの紙面

「いつも通り」の甲子園

21世紀枠 横浜清陵上
高校野球の学年が代替わりする夏の終わり、新チーム最初のミーティングで横浜清陵高ナインに示される恒例の資料がある。題して「甲子園へのスケジュール 甲子園の基準」。

オールカラーで約30ページ。8月から始まって翌夏まで1ヵ月(このやるべき事が並べられ、例えば2月のページには選抜出場が決まると取材が多くなるなど細かいことまで記されている。甲子園球場の写真が散りばめられ、甲子園での振る舞いの注意事項を記した項もある。そして最終ページは、選手たちへのこんな問いかけで締めくくられている。



選抜出場の吉報を笑顔なく聞く横浜清陵高ナイン = 1月24日、同校グラウンド

「甲子園で「いつも通り」やろう」と言っには、どんな日常でなければならぬか?」清陵の野原慎太郎監督(42)はこのミーティングの趣旨を「甲子園の当たり前を知るために毎年やっている。(練習では)いろいろな厳しいことがあるが、甲子園で勝つために必要だからとみんなが納得できる」と説明する。いわく「甲子園では雨が降っていても試合が行われる。だから雨の中でも練習する。甲子園では小さな声は聞こえない。だから練習ではでかい声を出す」。

21面に続く

災害時に
上の交流サイトで拡散するデータや誤った情報や奈川など全都に当たる43都府県への影響が1日調査で分かった。防犯の妨げとなつた。防止で尋ねたところ業者側の削除トチェックのを含め6割に県が「拡散を備」を選んだ。応に加え、国求める実態が「関連」多くの自治上の有用な情システムを導る一方、偽情

米ウクライナ首脳決裂 異例の口論、鉱物合意せず

ウクライナ 侵攻
【ワシントン、キウ共同】トランプ米大統領は2月28日、ウクライナのゼレンスキー大統領とホワイトハウスで会談した。ロシアとの戦争終結に向けた和平交渉を巡り、米側の態度に不満を示したゼレンスキー氏に対し、トランプ氏は米国が支援してきたにもかかわらず「無礼だ」と非難。

報道陣の前で激しい口論を繰り返す異例の展開となり決裂した。予定していたウクライナの鉱物資源の共同開発に関する合意は見送られ、共同記者会見も中止となった。

トランプ氏がロシア寄り姿勢を一層強めたり、ウクライナ軍事支援を大幅後退させたりする可能性もある。3年続くウクライナ侵攻の戦況や終結に向けた交渉の先行きは不透明感を増した。

大統領執務室での会談は冒頭から約50分間報道陣に公開された。トランプ氏が戦後の安全保障について「確約していない」と語り、ゼレンスキー氏は「安全の保証がない停戦は受け入れられない」と不満を表明。ロシアのプーチン大統領を信頼できると主張するトランプ氏に対し、第1次トランプ政権下でもロシアはウクライナを攻撃していたと警鐘を鳴らした。

開始から約40分後、バンズ米副大統領が「大統領執務室で報道陣を前にそんな主張を展開するのは無礼だ」と反発すると険悪な雰囲気になった。トランプ氏もウクライナには和平交渉で「カード(切り札)がない」と主張。ゼレンスキー氏が交渉に消極的だとして「第3次世界大戦を賭けてキャンセルしている」と批判し、取引しないなら「われわれは手を引く」と突き放した。

米メディアによると、ウクライナ側は会談を続ける意向を示したが、レヒット米大統領報道官はトランプ氏が退室を求めたと説明。トランプ氏は交流サイト(SNS)に「ゼレンスキー氏は和平の準備ができていないと判断した」と投稿した。

会談後、ゼレンスキー氏

ロイター通信の話としてトランプ氏とゼレンスキー氏の間で激しい口論が展開され、両首脳の間で「選」するトランプ氏が「反論。ゼレンスキー氏は修復めて説明しようとするが、安全の保証

「ワシントン、キウ共同」トランプ米大統領は2月28日、ウクライナのゼレンスキー大統領とホワイトハウスで会談した。ロシアとの戦争終結に向けた和平交渉を巡り、米側の態度に不満を示したゼレンスキー氏に対し、トランプ氏は米国が支援してきたにもかかわらず「無礼だ」と非難。

報道陣の前で激しい口論を繰り返す異例の展開となり決裂した。予定していたウクライナの鉱物資源の共同開発に関する合意は見送られ、共同記者会見も中止となった。

トランプ氏がロシア寄り姿勢を一層強めたり、ウクライナ軍事支援を大幅後退させたりする可能性もある。3年続くウクライナ侵攻の戦況や終結に向けた交渉の先行きは不透明感を増した。

大統領執務室での会談は冒頭から約50分間報道陣に公開された。トランプ氏が戦後の安全保障について「確約していない」と語り、ゼレンスキー氏は「安全の保証がない停戦は受け入れられない」と不満を表明。ロシアのプーチン大統領を信頼できると主張するトランプ氏に対し、第1次トランプ政権下でもロシアはウクライナを攻撃していたと警鐘を鳴らした。

開始から約40分後、バンズ米副大統領が「大統領執務室で報道陣を前にそんな主張を展開するのは無礼だ」と反発すると険悪な雰囲気になった。トランプ氏もウクライナには和平交渉で「カード(切り札)がない」と主張。ゼレンスキー氏が交渉に消極的だとして「第3次世界大戦を賭けてキャンセルしている」と批判し、取引しないなら「われわれは手を引く」と突き放した。

米メディアによると、ウクライナ側は会談を続ける意向を示したが、レヒット米大統領報道官はトランプ氏が退室を求めたと説明。トランプ氏は交流サイト(SNS)に「ゼレンスキー氏は和平の準備ができていないと判断した」と投稿した。

会談後、ゼレンスキー氏

ロイター通信の話としてトランプ氏とゼレンスキー氏の間で激しい口論が展開され、両首脳の間で「選」するトランプ氏が「反論。ゼレンスキー氏は修復めて説明しようとするが、安全の保証